

2010 みんなで

与党となったことは、現在のようない閉塞感漂う社会に一石を投じたいという有権者の気持ちの現われだったようにも感じております。

このような状況の中、本町における一年を振り返りますと、町民の皆様や議会の皆様のご理解とご協力をいただきながら、各種諸問題に対して一心不乱に取り組み、厳しい財政状況の中ではありましたが、行政サービスの維持・向上に努めてまいりました。

各分野別に申し上げますと教育面では、菱田小学校校舎の耐震補強や内外装のリニューアル工事などを実施し、子どもたちは新しく生まれ変わった学び舎で元気に学んでおります。

農業面では、昨年10月に開所いたしました大崎町農業振興センターを中心とした農業支援体制の充実に努めて参りました。

そして曾於南部畑地かんがい事業や長田地区の水田ほ場整備も順調に進められ、本町農業の将来に向け着々と基礎を固めることができた一年ではなかつたかと思っております。

環境面につきましては、ごみリサイクル率全国1位を2年連続で達成するなど、ごみ減量化への取り組みや菜の花エコプロジェクト等、循環型社会への推進が評価され、『容器包装3R推進環境大臣賞』を受賞いたしました。このことは、地域において多くの皆様が一体となつて取り組んできたことの成果であり、厚く感謝申し上げます。

観光面では、道の駅に『観光案内所』がオープンし、本町の豊かな自然を生かしたツアーなどが企画実施され、情報発信も徐々に充実しつつあると思っております。

次に東九州自動車道関連でございますが、知事が県議会において野方インターチェンジ設置可能性調査に着手すると表明されました。これは住民の皆様や議会の皆様のご支援とご協力が大きな力となり実現へ向けて大きく前進したものと捉えております。仮に設置が実現すれば、交通アクセスの大幅な向上につながり、地域活性化に大きく貢献するものと期待しております。

次に安全面についてでございますが、井俣地区に大崎救急分駐所を建設中でございます。完成いたしますと、救急車到着までの時間が短縮されることになり、高齢化の進展に比例して救急出動が多くなるのが予想される状況下にある本町にとりまして、安全・安心の確保が図られるものと考えております。

また各小学校と体育館

などの公共施設に自動体外式除細動器（通称：AED）を設置し、救急分駐所設置と併せて安全安心な環境づくりを図ることができたと考えております。

今後も本町を取り巻く諸情勢には、厳しいものがあると思われませんが、『みんなであつくり大崎』のスローガンのもと、『ひと・もの・自然、調和が奏でる躍動のまち』の実現に向けて、誠心誠意努力して参る所存でございます。

最後になりますが、町民の皆様におかれましては、健康に十分ご留意されまますようお願い申し上げます。新しい一年が皆様にとりましてご健勝で多幸な一年になりますことを心からお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。